

OPRT 外国会員からの義援金 1千万円を日かつ漁協へ寄託

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構(OPRT)は、3月31日、東日本大震災で被害を受けたカツオ・マグロ漁業の復興を支援するため、OPRTの各国会員から送られた義援金1千万円を、日本かつお・まぐろ漁業協同組合(日かつ漁協)に、寄託した。(写真添付)

OPRT 原田雄一郎専務は、「地震発生の翌日、OPRT 外国会員(匿名希望)から、義援金4万米ドルの送金とともに、災害の甚大さに鑑み、他のOPRT 会員にも協力を求めるよう示唆された。全ての外国会員(マグロはえ縄漁業13団体)に義援金を求めたところ、多くの会員が、「日本の苦難を共に分かちつ」と言う熱い言葉とともに、直ちにOPRT の要請に呼応してくれた。

とりあえず、これまでに受領した義援金を、OPRT 会員国内マグロ漁業団体の遠かつ、近かつの諒解も得て、日かつ漁協に寄託した。外国会員の中には、まだなお募金活動を継続しているところもある。

また、OPRT 会員以外の外国マグロ業界も義援金を募っているとの連絡があり、感謝の念に耐えない。

昨年、ワシントン条約で大西洋クロマグロが取り上げられた際にも、OPRT 外国会員と密接に連携し、対応したが、この大災害で世界のマグロはえ縄業界の連帯が一層強まっていることを、実感した。」と述べた。

石川 日かつ漁協組合長は、「この大災害に世界中のマグロ漁業関係者から、日本のマグロ漁業者に対する心のもった見舞いと励ましの言葉とともに、このような多額な義援金を贈っていただいた。このことに、日本の関係マグロ漁業者を代表して、厚く御礼を申し上げます。日本のマグロ漁業の復興のために、めげずに、全力を挙げて取り組む覚悟だ。」と述べた。

OPRT は、今後受領する義援金も、日かつ漁協に寄託することとしている。

(問合せ・参加申込先)

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構

事務局長：田端 事業部長：人見

TEL：03-3568-6388

FAX：03-3568-6389



石川組合長（左）に義援金目録（1千万円）を手渡す OPRT 原田専務